

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年4月22日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

高齢者等福祉政策・介護計画の充実を

特別養護老人ホームが足りない 道内待機者 27,547人

今年度は、各自治体(保険者)で来年度からの「高齢者等政策や介護保険計画」を作成する年です。高齢者の実態や要求も踏まえた、住民参加の計画づくりが必要です。

厚労省は2013年度の特別養護老人ホームの待機者(入所申込者)の状況を発表しました。北海道も、2万7547人と増えています(2011年度は25694人)。21の高齢者保健福祉圏域ごとの待機者は右表の通りです。

圏域名	合計
南渡島	3,338
南檜山	259
北渡島檜山	431
札幌	8,616
後志	1,200
南空知	866
中空知	676
北空知	203
西胆振	809
東胆振	696
日高	557
上川中部	1,283
上川北部	579
富良野	295
留萌	350
宗谷	482
北網	1,801
遠別	494
十勝	2,783
釧路	1,540
根室	289
21圏域計	27,547

「限界です」 深刻な実態

「特養入居申込書」などから

●「長年妻と2人で支えあってきました。妻が病気を患ってからはヘルパーの力を借りながら暮らし、深夜もトイレ介助に起きるなど誠心誠意尽くしてきました。しかし先日は無性に腹が立ち、ついに手をあげてしまいました。もう限界です」

●施設職員の声:「身寄りのない方や行き先が見つからない方、在宅で必死に老々介護を続けている方が多く、訪問先で苦しい胸の内を涙ながらに語られることもあります」

(北海道民医連新聞より)

5月10日 安心できる介護制度をめざす学習会

時間 18:30~20:30

場所 札幌市教育文化会館 301研修室



講演「地域で今！私たちにできること」 講師 日下部 雅喜さん (大阪社保協介護保険対策委員)

要支援の地域支援事業化などの改悪が通ったら、どうなるか？ どうする？

参加費 500円

主催 笑顔に笑顔を！北海道連絡会

函館

「福祉は権利」

学習会・参加者から質問相次ぐ

函館社保協では、4月20日に道社保協運営委員の中川喜征さん(福祉保育労北海道地方本部副委員長)を招き、介護保険制度の学習会を行いました。職員や介護現場で働く労働者、友の会や地域の方など約50人が参加しました。

本来あるべき社会福祉の原理・原則や、「医療・介護推進法案」の内容が紹介されたほか、現在、札幌では地域包括ケアを先取りして、介護分野での市場化が急速にすすんでいる実態や、150日間休みのとれないグループホームの労働者の実態など相談事例が報告されました。「介護される人もする人もみんな笑顔に！北海道連絡会」のアピールへの賛同が全道に広がっている取り組みが述べられ、参加者は「福祉は権利だ」という考えをあらためて確認した学習会でした。



制度改悪さめさせ、改善させるとりくみを 宣伝・署名・要請行動

■札幌では、4月25日から毎週金曜日12時30分から大通で宣伝行動します。

■国会(衆議院厚労委員会)では、「医療介護総合推進法案」と同時に、野党提案で、月1万円賃上げさせる「介護・障害福祉従事者の人材確保に関する特別措置法案」も趣旨説明されました。国会議員への働きかけも強めましょう